

新型コロナウイルス感染症予防接種説明書

予防接種を希望される方はこの説明書をよくお読みになり、予診票に必要事項をご記入下さい。

【新型コロナウイルス感染症予防接種の有効性について】

新型コロナワクチンについては、国内外で実施された研究などにより、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の入院や死亡等の重症化を予防する効果が認められたと報告されています。

【注意事項】

1 接種について

予防接種の受けることの義務はなく、本人が接種を希望する場合にのみ予防接種を行います。認知症などにより接種を受ける本人の正確な意思確認が難しい場合には、家族やかかりつけ医によって、特に慎重に本人の接種意思の有無の確認を含め、接種適応を決定する必要があります。

また、個人情報保護法の施行に伴い、接種を行うことへの同意署名にあわせて、予診票の中野市への提出についても同意署名が必要になります。自署できない場合、代筆者が被接種者指名、代筆者及び被接種者との続柄を記入してください。なお、予診票の同意署名をいただけない場合は、公費負担の対象から外れ、自費での接種となりますのでご注意ください。

2 予防接種を受ける前に

(1) 予防接種を受けることができない人

- ①明らかに発熱(37.5度以上)している方
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ③ワクチンに含まれる成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがあることが明らかな方
- ④接種する予防接種を以前に受けたとき、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギー様症状などの異常がみられた方
- ⑤その他、上の①～④に該当しない場合でも、医師が接種不相当と判断した時は接種できません。

(2) 予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない人

- ①心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患や発育障害、その他慢性の病気で治療を受けている方
- ②今までにけいれんを起こしたことがある方
- ③過去に免疫不全の診断がされている方、近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- ④接種するワクチンの成分に対してアレルギーが起こるおそれのある方
- ⑤新型コロナウイルス感染症予防接種において、抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害のある方

【新型コロナウイルス感染症予防接種の副反応について】

新型コロナワクチンの主な副反応として、接種後に注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等がみられることがあります。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復します。また、まれな頻度でショックやアナフィラキシーが発生することがあります。

そのほか、ごくまれに起こる重い副反応として、心筋炎や心膜炎を疑う事例やギラン・バレー症候群が報告されています。

なお、本ワクチンは新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。